

あつま

議会だより

3月定例会号

No. 119

平成17年4月発行

平成17年度 予算審査 2～3

委員会活動レポート 4～5

特別委員会報告(自律のまちづくり) 6

一般質問 福祉・教育問題など
11名が質問 7～17

豊川ひまわり保育園入園式 (4月6日)



賛成多数で可決

平成 17 年度 各会計予算審査

新年度予算に質疑

町づくりについて

Q 苫小牧港管理組合に参加できないか。

A 加入する考えは今のところないが、港の整備が進んでいって厚真町のメリットとなるようなことがあれば何らかの形で協力していきたい。

みがあり、現在は町のものになっている。

Q 周文埠頭の名称の変更はできないか。

A 次期港湾計画見直しの際に発言したい。



名称変更はできないものか（周文埠頭）

Q 野原公園サッカー場の運営補助金の見直しを。

A NPOの経営が安定するまで支援していきたい。将来は明るいものになっていくと考えている。

Q 寄附を受けたか。

A 2月1日に寄附申込

町民の健康管理

平成17年度の各会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会（海沼裕作委員長）を設置し、3月14日から3月18日までの実質5日間の日程で開かれ、慎重に審査した結果、各会計予算案とも賛成多数で可決しました。予算委員会での主な質疑をお知らせします。

Q 国保料を上げるが、町民の負担が増えるのでは。

A 平成12年度に介護保険が導入されてから保険料を低く抑えるよう努力してきた。しかし、一般会計からの繰入も限界がある。今回断腸の思いで

上げざるを得ないのでご理解いただきたい。

Q 国保料の納期回数を増やせないか。

A システムの改修費等で莫大な経費がかかる。

Q 福祉バスの効率のいい運行方法は考えられないか。

A コンピューターを利用したデマンド交通システムを実施している自治体が増えている。検討に値するものと考えている。

※デマンド交通システム
住民からの事前予約情報に基づき運行する乗合いタクシー方式。

議論

総額 80 億 8,890 万円



予算審査特別委員会

産業の安定

Q 新規就農者と農業者の高齢化についてどう取り組んでいくのか。

A 高齢化問題などもしつかり考えていかなければならない。新規就農者の問題にしても地域の中で受け入れる姿勢を持つ環境を整えたり高齢者の方々が働ける仕組みを考えていかなければならないと考えている。

Q 新規就農者に対する支援策が希薄ではないか。

か。

A 国の制度に見直しをかけている。結果によっては今後、優遇策の検討を進めなければならないと考える。

Q 17年度のエゾシカ対策の対象地は。

A 東和を考えている。

子供たちの安全確保

Q 保育園の防犯対策は。

A 防犯システムが完備されていないので、保健福祉課の職員も含めて対応することになっている。送迎時などは、家族以外の方が来る場合、事前に連絡をいただいている。

Q 小・中学校の危機管理マニュアルは策定されているのか。

A 各学校にある。学校・教育委員会は共通の認識を持っている。

公共施設



完成した表町団地 2 号棟

Q 公共住宅の入居募集は町民に分かりづらいのでは。

A 選考方法については、住宅困窮者優先としている。今後の募集には十分注意したい。

Q 向陽団地の計画は。将来的には用途廃止を考えている。

Q 上厚真地区で公営住宅の解体跡地の利用計画は。

A 今のところは未定である。

Q 厚真葬苑は、何年度くらいに改修する計画なのか。

A 平成2年の建設で、火葬炉は、随時補修している。だいたい平成20年以降と考えている。

動レポート

総務文教常任委員会

委員会は去る1月28日事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査6件、現地調査1件より抜粋。

厚真町郷土学習館（仮称） 構想についての考え方

①建設目的

先人が、豊かな郷土厚真を築き上げてきたその歴史や産業などに関わる資料の展示など、またこれらの資料や施設機能を生かし、町域全体に学習が広がる発信の場として郷土学習館を設置する。

郷土学習館の機能は、

資料の展示・収集・保存のほか学習的要素を持つた施設であり、当館を核とし町域全体の郷土学習を目指し、生涯を通じ郷土の学習の場が創出できる施設とする。



郷土学習館建設予定地（旧日石スタンド跡地）

②位置付け

・総合的に郷土を認識できる場

・町民の郷土学習の場

・文化財保存の場

・文化伝承の場

・郷土文化発信の場

・町を訪れる人々に対して町を認識する場

・総合的な学習に対する支援（郷土学習）の場

・町民の憩いの場

③資料の展示等

・常設展示

・特別展示

・収蔵展示

・映像による展示

④施設規模

・展示室

・研修室

・加工室（実習室）

・事務室

・ロビー

・トイレ

・機械室

質疑

Q 郷土学習館を設置する考えがあるとの認識で

よいか。

A まちづくり計画の中で郷土館を改築するという位置付けになっているので、郷土学習館を建設したい。

Q 建設構想についての計画内容は。

A 町民の学習の機会の利便性を図るため、図書室やITコーナー等などを併設したい。資料がたくさんあるので、収蔵庫については、空き公共施設を利用できないかと思っている。

Q 町民はハコ物はいらないう意見が多い。自立を目指すため行財政的に減量経営すべきであり、本当に必要なのか。

A 厳しい状況の中、状況の変化によって事業の見直しも必要なので、現状の施設の活用の方法なども含めて、いろいろな方策について考えていきたい。

委員会活

産業建設常任委員会

委員会は去る1月27日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査2件、現地調査2件より抜粋。

表町公営住宅建設事業

調査理由

17年度で公営住宅事業が終了すると、新しい団地ができる。他に依存しない自治組織や利用運営上の問題点について調査した。



表町公営住宅の現地調査をする産業建設常任委員

質疑

Q ペットの規制の指導徹底をしてほしい。

A 新しい公営住宅については、一切ペットを飼うことは認めていない。アレルギー、におい、鳴き声等の問題がある。

農業振興計画

質疑

Q 第4次農業振興計画の反省と諸課題の整理は。

A 集落に対してアクションプランの取り組みは35%、なかなか地域段階で受託組織ができない、農業研修機会の持ち方が難しい、特に土地利用型作物の生産計画に未達成の部分が多い。

Q 第5次農業振興計画での、所得目標、農家数把握状況は。

A 460万円程度を最低ラインとしたい。現在540戸の農家があるが、平成21年では担い手である認定農家が200戸と想定している。

Q 経営面積が大きくなるにつれ、基本的な作物の推進が必要であり、また、農業機械などには補

助金が厚真町で使われていないと思うが。

A 休閑緑肥の作付け推進を明確にしていく。営農相談で農業振興課にくる人は少なかったが、農協でも行っており間接的だが、国などに話をつないでいる。

Q クリーン農業が認められ、価格に反映されるように、また技術体系を示さなければならぬと思うが。

A 厚真農業のスタンダードという考えを明文化し、まず、そ菜園芸品を中心にやっていきたい。

●このほか主なものに、オピニオンリーダーや人づくり、土づくり、地産地消に関した農産物のPR、情報発信の方法、機械の有効利用、経営管理、エゾシカ対策などについて調査した。

自律のまちづくり調査特別委員会

調査事件

- ①議会改革について
- ②行財政改革について

平成 16 年第 3 回定例議会（9 月 15 日）において付託された調査事件について、これまで 5 回の委員会の調査、検討の中間報告をした。

廃止又は縮小することとしたもの

① 議員離職時の報酬支給規定の見直し	
② 全議員で行う道内行政視察の廃止	855 千円 / 4 年に 1 回
③ 全議員で行う道外行政視察の廃止	2,717 千円 / 4 年に 1 回
④ 海外行政視察の廃止	700 千円 / 1 回
⑤ 胆振支庁管内町村議会議員研修会の縮小	325 千円 / 年
⑥ 胆振支庁管内町村議会議長会定期総会の縮小	78 千円 / 年
⑦ 胆振支庁管内町村議会議長会道外視察研修の縮小	82 千円 / 年
合 計	4,757 千円

上記の報告とともに、今後さらに議会改革と町の行財政改革全般にわたって継続して調査することとした。

第一回定例会

一般質問を

福祉センターで開催

第 1 回定例議会が 3 月 7 日に開会され、10 日の一般質問は、昨年に引き続き会場を議事堂から福祉センター青年室へ移動して開催、昼間の部に続

いて午後 7 時からナイター議会も行いました。会場には、延べ 22 名の方が傍聴に訪れ、白熱した議論に熱心に耳を傾けていました。



福祉センター青年室でのナイター議会

町政を問う！！

一般質問

3月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

本郷団地内の橋の架換

Q 本郷の沢川の橋架換は

A 平成18年度以降になる



筒井 議員

本郷団地内の橋架換

問 本郷団地自治会要望として、平成13年度に本郷の沢川の人道橋架換を要望しており、その回答として、後期5カ年計画（平成17年度まで）の中で実施を予定していると答えているが。

町長 そのとおりであるが、橋架換の前に、ともいきの里側の道路と橋の段

差を解消すべく平成17年度予算の中で検討している。

問 段差の解消ではなく架換でないのか。

町長 架換は18年度以降になる。



本郷団地内の人道橋

企業誘致・福祉・教育



井上 議員

Q 中小型ジェット旅客機一環製造事業の企業誘致の考えは

A 苫東開発と共同で取り組む

企業誘致

問 道と苫小牧市も誘致に向けての調査活動を開始、大企業である企業誘致を、町も苫東に隣接しており、町長・企業誘致課も行動を起こして町の未来を左右する重要課題であると認識し、前向きに努力すべきである。この企業誘致をどのように考えるか。

町長 苫東地域開発連絡協議会と情報を収集しながら、雇用拡大と人口増加が見込まれるので、企業誘致に向けて活動していき、この問題に真剣に取り組んでいきたい。

Q

新予防サービスの再編は

A

サービス低下にならないよう努める

介護保険改革と老人福祉

問 予防・施設サービス給付の見直しにおいて、介護料等の自己負担が家族に重くなってくる。新予防サービスの再編をどのように推進するのか。

町長 ゆくり・ほんごう・ともいき荘により対応できるが、町民への応分の負担をお願いすることになる。国の情勢を見極めながら、福祉サービスの低下にならないよう努め、早々に町民説明会を開いて理解を求めていきたい。

厚真高等学校の支援は

問 高等学校の存続は、現状の支援策でいいのか。少子化に拍車がかかっているが、町独自の教育方

が高く乗降しにくいとの声がある。このことについての考えを。

町長 皆さんから喜ばれているが、乗降に不便なところがあれば今後、利用しやすいバスを考えていきたい。

自立のまちづくりを目指すために

問 経験による技術や知性を持つている人材を活用すること、自立のまちづくりを目指す町として財政改革における委託料等を削減できる。また、修理・点検なども委託でき雇用拡大につながる。専門性以外の委託を町内業者でやることについての見解は。

町長 高齢者の方が経験技術や知性を生かすことで、健康で生きがいをもち働いていた、だくことによつて、行財政改革での削減・縮減へ努めていきたい。

Q 高齢者に優しい福祉バスを

A 乗降しやすい福祉バスに

問 福祉バスのステップ

一般質問

行財政改革・郷土学習館構想

Q 道財政のひっ迫状況の影響は

A 道営パワーアップ事業の受益者負担増を町で持つことは難しい



岡部 議員

行財政改革

問 平成17年度以降の財政運営見通しは、行財政運営シミュレーションを基本として、新総合計画を踏まえて組み立てていると思うが、現時点の状況分析は。

町長 交付税は16年度は、基準財政需要額でマイナス8・5%、17、18年度は、マイナス3%、23年度までマイナス5%と予想している。しかし、19年度以降が心配である。

問 行革の具体的推進は。

町長 人件費、建設事業は、大幅削減をする。平成28年度までに財政調整基金を10億円取り崩す。

問 道の財政建て直しプランの本町への影響は。

町長 道営パワーアップ事業の継続、道有林交付金、国保補助金、小規模事業補助等の縮減など、少なからず影響を受ける。特に、道営パワーアップ事業の受益者負担増を町で持つことは難しい。

Q 郷土学習館的施設構想は

A 17年度に管理運営を含め構想をまとめたい

「まちおこし」としての郷土学習館的施設

問 この計画は、平成12年度の商店街活性化基本計画の策定により、市街地活性化の便益施設として位置付けられた。それが、「郷土学習館的施設」と変化してきた。この建設理念は。

町長 商工会から「提言書」が町へ提出されており、それにプラスアルファして、約1万点ある昆虫の展示を考えている。建設費には、ダムの補償費をあてたい。場所は、ガソリンスタンド跡地（商工会の道路向い）に確定しており、区画整理組合から購入する。

問 この施設の関連担当窓口が複数ある。窓口の一本化が必要と思うが。

町長 方向性が定まっていないので、助役を中心にと思っている。時間が欲しい。

問 より多くの町民（幼年、少年、青年、壮年、

老年、女性）のアイデア・構想を聞く協働のまちおこしのための組織の創設が必要と思うが。

町長 それは大切だと思

問 公設民営的手法の管理運営、厚真産100%の木材でログハウス風の設備、土日市場の開設、女性部売店・飲食サービス販売など、町民が建設を手伝う機会をもつ親近感のある施設等いろいろなアイデアがあるが。

町長 厚真町の顔になるものになりたい。管理運営を含め17年度に構想をまとめたい。

行財政改革・郷土学習館構想



沢口 議員

Q

戦略会議の評価は

A

改革の第一歩を踏み出した

行財政改革

問 戦略会議の中間報告がなされたが、町長の評価は。

町長 既成概念にこだわらない、具体的改革の方針を進める上での第一歩を踏み出したと思う。

問 今回は補助金についての事業見直しを中心だったが、町長としての政策方針とどう整合性をとっていくのか。

町長 まだ精査していないが、私の政策と整合性をとりながら進めていきたい。

問 膨大な事業を見直した職員の思いをどうくみ取っていくのか。

町長 職員の思いも大事にしながらやっていきたい。

Q

郷土学習館の今後の議論は

A

多くの町民から意見をいただく

郷土学習館構想

問 仮称郷土学習館について、教育委員会としてどのくらい議論されてきたのか。

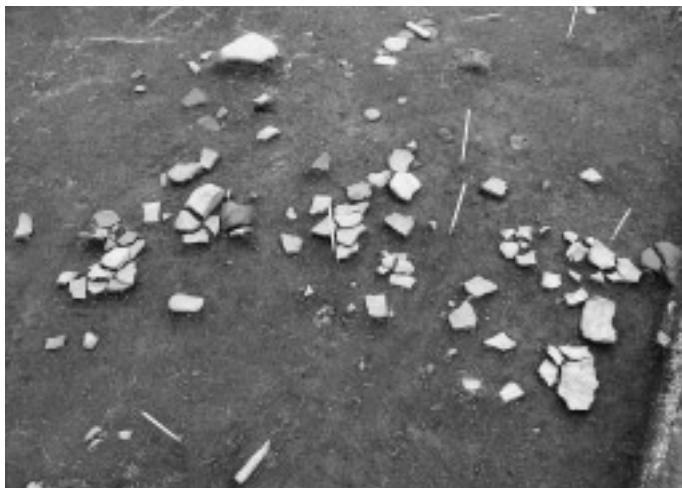
教育長 現在出土している埋蔵物も含めて、保存を重視なのか、展示に重きを置くのか検討してきた。どちらにしても町民の学習の場として活用できる施設を模索してきた。

問 教育長の執行方針では、設置のトーンが下がったのでは。

教育長 教育委員会としては、設置について後退したとは思っていない。

問 今後どのような手法で議論していくのか。

教育長 多くの町民から意見をいただいて愛される施設になれるよう努力していきたい。



貴重な埋蔵文化財が出土している
(青森県五所川原産と思われる須恵器)

一般質問

国保・サッカー場・大規模改修

Q なぜ今保険料を引き上げるのか

A 厳しい財政事情による

国民健康保険事業

問 納期を四期とし、一期に支払う負担の軽減を図り、滞納の解消に努めると言っているが、その結果は。

保健福祉課長 結果については、納期が終わってから分析する。

問 医療給付費の高騰や厳しい財政事情から繰入も限界であり、保険料を1千万円引き上げることだが、なぜ今、負担増をするのか。

町長 地方税法の改正によって負担額2億1千5百万円を、2千5百万円下げた。厳しい行財政事情から、いつまでも町がその分を負担していくことは、至難であるので、今年は賦課総額を1千万円引き上げたい。言っ

れば元に戻したということである。

問 ケアセンターも建設しハコ物ばかり建てているが、今、値上げとはタイミングが悪いと思うが。

町長 町民の批判があるとは私には聞こえていない。現状を見てもかなりの利用がある。タイムイングが悪いと言われれば悪かったかとは思いますが、何年かおいて皆さんの理解は得られると思う。

Q 野原公園サッカー場に財政支援をしているが

A 町の発展・将来のため間違いない

野原公園サッカー場

問 野原サッカー場建設は、自己資金でやり、町の財政支援は一切ない。完成後に町に寄付すると



木村 議員

いう話だったと思うが、間違いないか。

企画調整部長

そのとおりで間違いない。

問 完成もしていないのに16年度に町の事業として約3千9百万円もの予算をつぎ込んだのは、いかがなものか。

町長 支援は議会の議決を得ており、町が勝手にしたわけではない。サッカー場に何万人もの人が来ることを、期待をしているから、これからの厚真町の発展・将来のために間違いないと思う。

問

サッカー場に何万人もの人を集められるという安易な考えは捨てて、貴重な町の財源をつぎ込むのだから冷静な判断をしていただきたい。

町長 そのようには思っていない。大会に参加す

Q 厚南中学校講堂の大規模改修の必要性は

A 以前からの計画であり実施する

る人からは参加料をいただいている。それが自主財源になってYAGENフットボールクラブが運営できる。

問

厚真町民が使用する場合は無料なのか。

企画調整部長

理事長の判断で減免できるという規定があり、減免は、これからケースバイケースということで、決まったものではない。

問

なぜ今、大規模改修する必要が生じたのか。

町長 大規模改修は地震が起きる前からの約束事であるので、今年度実施をする。

教育長

講堂の大規模改修は当時の実施計画に基づいて行う。

問

厚南中学を新築するときに、町民にどのように説明したのか。

教育長

災害が起きたときに本体の復旧が必要ということ、講堂については、当分うんぬんとか、そのような説明をしたかどうか、覚えがない。

問 講堂は、お蔭様でもなかったとのことだったのに、今年大規模改修をするのは、町民が理解できないのではないのか。

町長

大規模改修は以前からの計画であり、実施をする。このことに対して私は喜ばれても批判されることはないと思っ

少子化対策・農業振興

Q

少子化対策の取組み状況は

A

1町村の力では限度がある

少子化対策

問 「我が国における急速な少子化の進展は、我が国の人口構造にひずみを生じさせ、21世紀の国民生活に、深刻かつ多大な影響をもたらす。我らは、紛れもなく有史以来の未ぞうの事態に直面している。

しかしながら、我らはともすれば高齢社会に対する対応にのみ目を奪われ、少子化という社会の根幹を揺るがしかねない事態に対する国民の意識や社会の対応は、著しく遅れている。少子化は、社会における様々なシステムや人々の価値観と深くかかわっており、この事態を克服するためには、長期的な展望にたった不

断の努力の積み重ねが不可欠で、極めて長い時間を要する。急速な少子化という現実を前にして、我らに残された時間は、極めて少ない。」

これは平成15年7月に制定された、少子化社会対策基本法前文の一節である。このままで行くと、2050年には日本の人口は、1億人台になると言われている。町長は、今回の施政方針の中で、厚真町の平成15年度の合計特殊出生率は1・99であったと述べている。出生率は、1つや2つの施策でどうこうなるものではなく、様々な施策によるものである。国や道だけではなく町としての施策も重要であるが、今までの厚真町はどうであっ



山田 議員

たか。

町長 厚真町としては、特別のことをしていると考えてはいない。1町村の力でどうこうできるものでもない。少子化対策は重要な問題であるが、今いる町民がどう幸せになるかということが大切だ。

問 就学前乳幼児の医療費助成についてであるが、本年は587万円、昨年もほぼ同じで、さかのぼって平成9年は914万円であった。児童数の兼ね合いもあると思うが、金額ベースで言うならば、後退していると言うべきであろう。また、保育料についても国が示す額の4割減が平均で、第2子は半額、第3子は無料が当たり前となっており、

厚真町はこの域には達していないと思うが。
町長 今後の検討材料とし、参考としたい。

Q

農業支援システムの考えは

A

第5次農業振興計画に位置付ける

農業支援システム

問 農業支援システムについて町長の考えを聞きたい。

町長 第5次農業振興計画の中で、国の新しい施

策に対応していくために、農地流動化の促進により規模拡大される個別家族経営農家、法人経営農家は、規模拡大に応じて、施設、機械が必要になることから、担い手の体質強化を基本として、機械とか施設の共同利用や、農作業受委託の担い手経営を補完する経営支援システム型成をしつかり位置付けしていく。

問 この中に共同育苗とか飼料作物支援とあるが、どういうものか。

農業振興課長 共同育苗について、本町での水田経営規模が大きくなってきている。そこでネットワークになっているのが育苗作業である。また、本町では70歳を超えた方々も大切な担い手として位置付けている。これらの方々にも手助けになればと考えている。飼料作物支援については、手がけている。また、これらについては、農協と密に話し合っている。

一般質問

基盤整備・こぶしの湯・行財政改革



古川 議員

Q 厚南デイサービスセンター周辺の道路改良は

A 具体的な要望はない

上厚真市街地の整備

問 上厚真地区の生活基盤施設整備の遅れが目立つが、道路改良を含め、厚南デイサービスセンター及び宮の森保育園周辺の環境整備は。

町長 道路改良に関しては、上厚真地区の指摘地域は要望にはない。具体的にこうしてほしいという地域の熱意と皆さんの要望があつてしかるべきである。

問 上厚真地域は、道路事情が良くなく、整備が遅れているとの認識は。

町長 道道、町道の違いこそあれ、上厚真地区の町道整備は、遅れているとの認識はある。

問 児童公園（パークゴルフ場）の名称はそのままか。

都市施設課長 パークゴルフ場では、子供たちも利用しているので、不都合はないと考える。

問 上厚真小公園の俗称、イエロー公園とは。

都市施設課長 小公園に

何もなかった時に、幌内保育園の遊具をそのまま持つてきた。その色がイエローであつたためである。

問 子供たちが快適で安心して集える公園が上厚真地区に必要ではないか。

町長 上厚真地区には4つの公園があるが、少し良い公園をと考えている。堤防の教員住宅跡地に芝を植える等の公園整備か、神社公園整備か、どちらか検討する。

問 児童会館的な施設がないので、厚南会館で子供たちに居ここの良い居住空間を提供できないか。

町長 今後、厚南会館の使い方、利用状況を考え検討する。

こぶしの湯あつまの経営改善は

A 運営検討委員会で検討する

こぶしの湯あつま

問 こぶしの湯運営事業

費の半分を占める管理委託料にメスを入れるのは、困難との見解はなぜか。一般財源の持ち出しは、どのように推移しているのか。

町長 従業員が町内外24人おり、大きな雇用現場である。こぶしの湯運営検討委員会で運営主体をどうするかも含め検討していく。

こぶしの湯支配人 赤字は16年度は、1,900万円を越える見込みで、

Q 的確な予算執行を

A 町民の意向を聞きまちづくり計画の中で示す

行財政改革

ほしい。

問 行財政改革の嵐の中、大切なのは、何を優先し、何を削減するかの見極めである。どこにどう予算付けし、執行するかは、町長の意向より町民の声である。間違つた判断をしないよう予算執行して

町長 まちづくり計画のアンケート調査等でしっかりと町民の意向を聞き、18年度以降、新まちづくり計画の中で示していく。質問にはないが、2,190万円の削減を予算に反映させた。

15年度は、1,253万円、14年度は、670万円である。

問 愛町購買運動的な考えと節約しなければならぬとの部分での上手な均衡を保たなければ、この町営のこぶしの湯は、成り立たないと思うが。

町長 こぶしの湯の見直しの中で話題になると思うが、町内業者にも相当ふんばつていいものを提供してもらいたい。

障がい者福祉・体育祭



米田 議員

町長 昨年の10月に障がい者自立支援法が提案され、障がい者の人たちが能力を活用して自立した社会生活を送れるよう市町村に支援事業など総合的・計画的に行う責務が課せられることになるだろう。

町長 市街地に施設ができれば、ボランティアのお手伝いもしてもらいたいと考えている。地域の皆さんとお話をしながら、一番いい方法を考えていきたい。

町長 障がい者福祉 障がい者の人たちは、自立して社会に参加していきたくと考えている。旧鹿沼小学校を利用して障がい者の人たちが、作業訓練などをして社会に参加していく施設に利用できないか。

町長 厚真の人が苦小牧の施設にボランティア等で指導しているケースもある。ボランティアを十分に活用して地域を盛り上げていくことが必要と思うが。また、旧鹿沼小学校周辺を富川の施設の人たちが、年に数回利用して、1日を過ごしているという実態もあるが。

A

市街地に近いところが良いと考える

Q

旧鹿沼小の校舎を障がい者を支援する施設に利用できないか

Q

集まりんピックの参加を増やせないか

A

建設協会、商工会などに参加を呼びかけたい

集まりんピック

町長 集まりんピックは町民の子供から高齢者の方まで広く、多くの人が参加している体育大会である。参加団体を増やしていくために、職場などにも働きかけてはどうか。

教育長 夏の集まりんピックは、39回となった。自治会長やスポーツ協力を通じて案内を出している。建設協会とか、商工会やJAにも参加を呼びかけていきたい。



平成16年度をもって廃止することになった集まりんピック冬季大会

選挙事務・宅地分譲



海沼 議員

Q 選挙事務の改善はできないか

A 投票区の見直しを検討している

選挙事務

問 期日前投票制度と、不在者投票制度の違いは、投票日当日の選挙権のあるなしで変わるということとで、これに矛盾を感じないか。

選管書記長 投票日前に投票所で投票される方は、すべて期日前投票という確定した取り扱いをしている。投票所に来られない方を、不在者投票の扱いとしているので矛盾は感じない。

問 終了時間の繰上げ、投票所の整理、従事者の民間委託など、期日前投票をPRすることによって選挙事務の改革ができないか。

選管書記長 現在、選挙管理委員会では投票区の見直し作業中だ。経済的な合理性より有権者の投票機会を尊重しなければならぬので、投票の終了時間繰上げについては考えていない。

Q

上厚真の宅地分譲は当初予算にないが

A

地下水調査のため1年遅れる



上厚真の宅地分譲予定地

上厚真の宅地分譲

問 上厚真で宅地の分譲をするように話していたが、なぜ当初予算に盛り込まなかったのか。

町長 分譲計画はしたい。上厚真で環境整備事業の下水対策をするための基

礎調査を計画している。分譲はしないので予算に盛り込まなかった。

問 町の行方は人口減少をどう食い止めるかにかかっている。このことは重要施策でなかったのか。

町長 上厚真地域の問題は、他にも町道上厚真10

号、11号の改修を約束しているが、これも地下水調査が必要で、この方向を出すため1年分譲は遅れる。

問 苫東の共和地区に最終処分場を建設するマテックが進出することである。この種の業界は多々問題を起こすが、従業員は当然上厚真、厚真町に住むものになるのか。

町長 マテックの会社の方が、あいさつに見えたとき、私の行政に対する姿勢として、きちんと雇用の受け入れ、また、従業員に居住してもらおうと申し入れてある。

問 この宅地分譲を成功させるために条件がいくつかある。現市街地との面的なつながりを持たなければならぬと思わないか。

町長 上厚真市街全体を考えたとき、一体開発でやっていかなければならないと思っている。

教育問題



森田 議員

Q 教育ビジョンを策定しては

A 学校教育・社会教育を含め作成したい

よみがえれ日本構想

問 文部科学大臣のこの構想のスローガンは、頑張ることを応援する教育とのことだが、どう受け止めているか。

教育長 昨年11月4日、経済財政諮問会議において中山文部科学大臣が、新しい時代の日本人像を示す教育基本法の改正、学力向上、教員の質の向上、また三位一体改革に絡んで義務教育費国庫負担金の問題について提言したものである。

現在取り組んでいる、確かな学力や豊かな心、あるいは健やかな体などを育てる教育、総じて生きる力と言っているが、このことが組み込まれていると受け止めている。

教育ビジョンの策定

問 時代が変化しつつある中、今日の学校教育、生涯教育をめぐる諸課題を改めてとらえ直し、こ

れからの教育のあり方を明らかにする教育ビジョンを策定すべきと考えるが。

教育長 新たな総合計画が平成18年度からスタートするが、新総合計画との整合性を図りながら、学校教育、社会教育を含めた計画を作成したいと思う。

問 本町の児童・生徒の学力と体力の現状をどう認識して、その向上対策に教育委員会などで議論し、具体的対策を講じているのか。

教育長 学力の向上については、学校での教科の中で学習の仕方、学ぶ意欲、学習への関心を持たせるなど、取り組んでいる。体力の向上については、当然教育の中で、学校の体育の授業、部活動等で指導している。

問 生涯教育推進の必要性は論を待たないが、どのような視点に立って推進しているのか。

教育長 生涯教育については、社会教育、社会体育、いろいろな角度から事業を展開している。また、文化協会を初め各団体も自らの資質を高めるため活動している。行政

も町民も一緒に取り組んでいくのが生涯学習である。

Q 道徳の授業時数は確保されているか

A すべての学校で確保している

道徳教育の充実

問 文部科学省が実施した全国小中学校の道徳教育推進状況の結果によると北海道においては、標準単位時数と言われる35単位時間を下回って実施しているのが、小学校で8・1%、中学校で3・5%となっている。また、家庭や地域社会の理解と協力を得るための取り組みを行っていない学校が

2割を占めている。この結果をどう受け止めているか。

教育長 教育課程の編成を各学校の校長から提出してもらい、その結果を確認しているが、すべて学校教育法の授業時数、小学校1年生は、34時間、小学校2年生から中学校3年生までは、35時間を確保して、実際に授業をしている。

一般質問

合併新法・報酬削減・学校の安全対策

Q 合併新法に基づく合併協議会設置勧告の対応は

A 勧告があつても応じない

一万人未満の国の方針

問 総務省は4月以降に小規模町村1万人未満を明記されるというが、町長の認識は。

町長 一つの目安になると考えている。

問 1万人未満の小規模町村で自立を選ぶと役場は窓口業務・自主的な政策は持てないといわれるが。(地方制度調査会の最終答申)

町長 厚真町と同じ所が他にもある。これらの町が心一つにして真の地方自治を守っていくという考え方である。

問 平成18年3月までに合併の決まっていない所の枠組みを作り知事は勧告するというが、応じるのか。

町長 知事は勧告してまで合併させないのでは。市町村の味方であると感じている。町民の意向が固まらない限り合併協議会の設置には応じない。

※合併新法 平成17年4月から5年間の法律で、総務省が定める基本方針に基づき、知事には市町村に対し合併協議会の設置等を行う権限が与えられる。

10年間自立

問 当面自立すると町長は宣言しているが、当面の見通しはいつまで。

町長 国・道・周囲の動きによつては10年先には動かないといけないかもしれないが、10年間は単独でいける。合併せず自立する。

Q 特別職報酬等審議会に諮問した経緯は

A 全道的・近隣の動きがあり諮問した



佐藤 議員

特別職給料削減

問 町長が厚真町特別職報酬等審議会に対し、町長、助役、教育長の給料の諮問を行った経緯は。

町長 全道的、近隣でも削減の動きがあるので審

議会に諮問し、内容は全て任せ答申に従った。

問 議会議員の報酬削減等も諮問したと答申内容にあるが、どうなのか。

町長 一切していない。

問 自律特別委員会では、まだ議題にされていないが、私個人としては、議会議員も報酬・定数を削減すべきと思うが。

町長 私からはどんなことがあつてもコメントできない。

Q 学校の不審者対策は
A さすまたを手配中である

学校の安全・管理

問 のぼり(ひなんの家)設置の実情は。

教育長 平成12年に100本設置した。全世帯が

ひなんの家と考え、みんな保護の働きかけを呼びかけ取り組んでいる。

問 ひなんの旗(オレンジ色)を見つけない子供が身の危険を感じ飛び込んで、家の住人がいなかったらどうするのか。

教育長 そこまで追いかけて来ないと思うし、防犯ブザーを持たせている。想定していない。

問 実地訓練の必要性は。
教育長 万が一の火災・地震等の訓練をしているし、マニュアル配布、研修会の教員派遣・講習もさせている。

問 不審者を校舎内に侵入させない措置は。
教育長 玄関の施錠の徹底、防犯グッズのさすまたを各学校に用意するた

め手配中である。



役場前にも設置されているひなんの旗

町民のこえ を募集

厚真町議会では、議
会を傍聴した感想や
「あつま議会だより」
を読んだ感想、厚真
町議会へのご意見を募
集します。

投書について

投書される方は、用
紙に300字程度にまと
め、自分の名前と電話
番号も書いてください。
「あつま議会だより」
への掲載は、匿名を原
則とします。

投書されたご意見・
ご要望については、
「議会だより」にて、
その処理の結果につい
てお知らせいたします。
なお、名前等の記入
がない投書については、
取り扱わないこともあ
りますので、ご注意願
います。

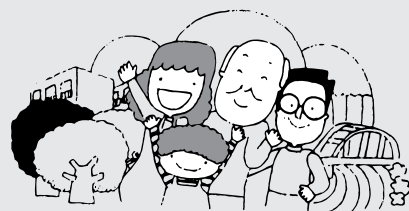
みんなの町政です 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の
場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は6月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2321 (内線 452) 議会事務局までお気軽にどうぞ。



議会のうごき

2 月

2日・胆振支庁管内町村議会議長会第1回定期
総会(厚真町)

13~14日・町単独中央要望(東京都)

18日・自律のまちづくり調査特別委員会

3 月

3日・議会運営委員会

7~18日・平成17年第1回定例議会

7日・議会運営委員会

16日・議会広報特別委員会

4 月

1日・議会広報特別委員会

15日・議会広報特別委員会

18日・総務文教常任委員会

19日・産業建設常任委員会

あ
と
が
き



平成17年度の予算も決
まり、行財政改革をより
厳しくして、協働のまち
づくりを進める上でもお
互いに協力して生活を維
持しなければならぬこ
とを改めて感じます。
ノーベル平和賞をもちつ
たマータイさんが日本語
の「もったいない」を世

界の言葉にしたいと言わ
れた。仏教語であるこの
言葉をわれわれ日本人が
真つ先に受け止めなけれ
ばなりません。
大阪博以来35年ぶりに
21世紀最初の国際博、愛・
地球博(自然との共存)が
開幕しました。ちなみに
名古屋の人々はバブルに
踊らず、借金をせず、タン
入預金をしているそうで
す。

過保護の甘ったれ体質
から抜け出しこれからの
時代を担う若い人や子供
たちのためにも、どう効
率的にお金を使ってい
かが大きな課題だと思
います。
町民の皆様のご意見を
議会事務局まで遠慮なく
どしどしお届けください。

広報委員
佐藤富美子